

## 1 実践の概要

<b>タイトル</b>	<b>停電を想定した避難訓練（大曲養護学校寄宿舎）</b>
<b>概要</b>	地震による停電を想定した避難訓練を実施 期 日：平成25年9月19日（木） 場 所：大曲養護学校寄宿舎棟 時間帯：21：15～21：25 参加者：寄宿舎生36名、寄宿舎職員5名、教職員（舎監）1名

## 2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
1 事前打ち合わせ ・児童生徒の事前学習 ・職員による検索担当確認  2 避難訓練当日 (1) 地震発生 (2) 避難対応訓練  3 避難訓練終了後 (1) 訓練の講評 (2) 反省アンケートの実施 (3) 改善事項の確認	○全校職員には、実施計画書を配付した。当日の訓練に当たる職員には、実施計画書を基に打ち合わせを行った。 ○寄宿舎集会で避難時の基本動作と避難経路・場所を確認した。 ○児童生徒には、夜の会で訓練について話をした。 ○検索の際、押し入れやトイレの個室等、気を付ける箇所を確認した。  ○消灯後、地震による停電を想定し、電気を付けず常夜灯と懐中電灯で対応した。夜間のため、寄宿舎プレイルームに集合した。 ○部屋にいる児童生徒には、非常持ち出し袋と部屋の懐中電灯を持って避難するようにした。 ●本部（宿直A）からの指示伝達を中心に（宿直者B～E）同士が連絡をしながら、眠っている児童生徒への対応と避難誘導・検索をした。  ○児童生徒には、翌日の朝の会で舎監より講評をもらった。 ○職員の反省を基に改善点を課題として寄宿舎会議で確認した。


## 3 成果と課題

<b>成 果</b>	1 消灯後の児童生徒の実態が分かり、個々に応じた対応の仕方を確認することができた。 2 事前に職員演習会で発電機・投光器の使用方法を演習することにより、停電時の電源確保の対応を確認できた。 3 高等部の生徒が、懐中電灯で辺りを照らしてくれたり、下級生と一緒に避難してくれたり、これまでの避難訓練の成果が見られた。
<b>課 題</b>	1 夜間の災害の際、宿直者（6名）がトランシーバーで各棟の状況を連絡し合い、迅速な避難誘導・検索を行う。 2 宿直職員は、災害時の情報収集のため、常時携帯電話を所持する。
<b>今後の継続予定</b>	1 宿直態勢での避難訓練（夜間・朝）を実施する。 2 児童生徒の非常持ち出し袋の中身の確認を月1回の安全点検日に行う。 3 寄宿舎内の防災用具の設置場所確認と月1回の安全点検を行う。

## 1 実践の概要

<b>タイトル</b>	<b>予告なしの避難訓練（大曲養護学校寄宿舎）</b>
<b>概要</b>	<p>入浴中の場面で地震想定での避難訓練を実施</p> <p>期 日：平成25年10月9日（水）</p> <p>場 所：大曲養護学校寄宿舎棟</p> <p>時間帯：入浴時間帯（18：40～18：50）</p> <p>参加者：寄宿舎生34名、自宅通学生（寄宿舎体験）2名、寄宿舎職員11名、教職員（舎監）1名、応援職員20名</p>

## 2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校職員</li> </ul> <p>2 避難訓練当日</p> <p>(1) 地震発生</p> <p>(2) 避難対応訓練</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>3 避難訓練終了後</p> <p>(1) 訓練の講評</p> <p>(2) 反省アンケートの実施</p> <p>(3) 改善事項の確認</p>	<p>○10月上旬に職員・児童生徒に予告なしで実施することにした。</p> <p>○全校職員には実施計画書を配付し、日時以外の訓練の流れを事前に確認できるようにした。</p> <p>○入浴時間帯の訓練を想定したため、外への避難ではなく、寄宿舎プレイルームに集合した。</p> <p>●浴室には緊急放送が入らず、入浴中の生徒の着替えには応援職員にも手伝ってもらい避難誘導した。</p> <p>●予告なしだったため、各寄宿舎職員がその日の勤務に応じた自衛消防組織の通りに動くことができなかったが、職員同士が言葉を掛け合いながら検索・誘導にあたった。</p> <p>○児童生徒には、当日の夜の会で避難訓練の振り返りをし、舎監より講評をもらった。</p> <p>○職員の反省から課題とされた役割分担（各自の検索場所や人員報告者）を寄宿舎会議で協議した。後日、職員演習会で今回の改善点を再確認した。</p>

## 3 成果と課題

<b>成 果</b>	<p>1 予告なしの避難訓練だったが、ほとんどの児童生徒は放送や職員の指示をよく聞き、落ち着いて行動することができた。</p> <p>2 日常での職員の災害時に対する意識が高まった。</p> <p>3 自衛消防組織表の通りに検索・人員報告はできなかったが、それぞれが臨機応変に対応し、全寄宿舎生を安全に避難誘導・検索することができた。</p>
<b>課 題</b>	<p>1 その日の勤務に応じた自衛消防組織に沿った職員の動きをおのおの確認する。</p> <p>2 寄宿舎職員が応援職員へ指示を出し、職員同士言葉を掛け合いながら児童生徒の避難誘導を行う。遅番職員が検索し、宿直職員が最終の人員確認を行う。</p>
<b>今後の継続予定</b>	<p>1 予告なしの避難訓練は年1回実施し、職員演習会で自衛消防組織に沿った職員の動きを確認していく。</p> <p>2 様々な時間帯を想定し、併せて消防署への通報訓練も行っていく。</p>